

ひろしま 農林業振興 ニュース

第16号 H13 3/1 財団法人 広島市農林業振興センター 〒739-1751 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
Hiroshima City Agriculture and Forestry Promotion Center TEL(082)845-4770 FAX(082)842-2149
http://www.hiroins-net.ne.jp/hiroagri/

おいしさで勝負!“ひろしまそだち”

“ひろしまそだち”のキーワードのひとつ「おいしさ」に着目し、特徴ある個性派“ひろしまそだち”の開発に取り組んでいます。



個性派野菜の試験販売

本センターは、①「昔なつかしいトマト」②「昔なつかしいキュウリ」③「晩酌茶豆」④「ミニはくさい」⑤「丸おくら」の5品目を試験販売しました。商品に添付したアンケートの回答では、各品目とも「また食べたいと思う」との声が8割以上あり、消費者の高い評価を得ました。

これらの品目について、栽培方法や流通・販売に関する情報を農家の皆さんに提供・活用していただくことで「おいしい“ひろしまそだち”製品”づくりを進めていきます。

詳細は、園芸課へお問い合わせください。

個性派野菜を食べた消費者のコメント

昔なつかしいキュウリ

子供のころ、夏場に食べた味、なつかしくて涙がでた。(女性52歳、南区宇品)

晩酌茶豆

いつも枝豆は買っていますが、こんなにおいしい枝豆は初めてでくせになりそうです。今後よく見て晩酌茶豆を買うことにします。(女性60歳、中区十日市)



ほどよい酸味の昔なつかしいトマト



パリパリ食感の昔なつかしいキュウリ



サラダでおいしいミニはくさい



甘味の強い晩酌茶豆



丸くてやわらか丸おくら

担い手の育成

“活力野菜”市場に浸透中

—新しい野菜生産の担い手をめざして—

“ひろしま活力農業”経営者育成事業の研修を終え、農家として自立した第1期生2名、また、この春に自立する第2期生2名の生産しているコマツナなど軟弱小物野菜が、市場の地場産コーナーをにぎわせています。

“ひろしま活力農業”経営者育成事業の卒業生が出荷する新鮮野菜が市場の主役になる日も間近となることでしょう。

第3期生の矢野さんと三登さんは、「先輩を超えるよう努力します。市民に喜ばれる栄養価の高い野菜づくりに頑張ります。」と意気込んでいます。



市場出荷する第1・2期生

家族みんなが、やりがいのある農業を！

農林業振興センターでは、いきいきとした家族農業経営をめざして、経営方針などを家族みんなで話し合い、文章にし実行していく「家族経営協定」を推進しています。

協定を作るには、主に次の視点で検討してください。

- 1 経営方針や計画は具体的であるか。
- 2 経営の役割分担は明確であるか。
- 3 利益の分配は妥当であるか。
- 4 農作業の就業時間や休日の設定に無理がないか。
- 5 将来の経営移譲の時期や方法は具体的に示されているか。

詳しい内容は、指導課へお問い合わせください。

☎ 振興部指導課構造改善係 (☎845-4347)



家族経営協定研究会

個性ある農業の展開

環境にやさしい農業の推進

平成12年度から、①街路樹の剪定枝や学校給食の残飯など、未利用の有機質資源の有効利用、②生分解性マルチフィルムを活用したゴミを出さない農業、③農薬の使用回数を減らした減農薬栽培などに取り組んでいます。

9月22日に、生産者・JA・流通関係者・消費者などを構成メンバーとした「環境にやさしい農業の推進協議会」を設立し、取り組み方針づくりや具体的な実施方法を検討しました。

今まで処理に苦労していた牛糞と街路樹の剪定枝を混合して試作した剪定枝堆肥は、畜産・野菜農家のお互いに好評でした。

生分解性マルチフィルムは、土にすき込んでも自然に分解され、ゴミを出さず、回収労力の軽減にもなり期待できそうです。



安佐南区農業祭の「環境コーナー」で紹介。3000人の来場者にPRしました。

牛舎に敷料として剪定枝を利用し、牛糞と混合し堆肥化します。



食農教育の推進

平成12年度に、市内産の「ひろしまそだち」産品を食材とした、親子クッキング教室（各教室に小学生とその保護者約30名が参加）を5回開催しました。

子供達がコマツナなど「ひろしまそだち」産品を使い調理を実際に体験することで、調理・消費（食事）と生産を身近にし、子供たちの将来にわたる望ましい食生活の定着を図っています。



「ひろしまそだち」を食材に親子クッキング

ガーデニング素材にハナヤナギ注目

ハナヤナギ（ミソハギ科）は、普通に栽培すると、草丈が1mくらいになり、秋おそくオレンジ色の花を次々と咲かせます。

夏に、さし芽をして栽培すると草丈を低く仕立てることができます。さらに、わい化剤（パクロボトラゾール）の使用で開花が早くなり花数も増えることが分かりました。

現在、新しいガーデニング素材の有望品種として、ハナヤナギの生産技術を開発中です。



ガーデニング素材の有望品種ハナヤナギ

☎振興部園芸課 (☎842-4421)

農薬は正しく使いましょう！

農薬は、その使用方法を間違えると、期待した防除効果が現れないだけでなく、人をはじめ、野菜・家畜さらには周りの環境に悪影響を与えます。

ラベルをよく見て、農薬を正しく使いましょう。



☎振興部指導課農産係 (☎845-4376)

作物名	農薬名	原液濃度(%)	当り 分量	使用 時期*	総使用 回数*
トマト	ヨトウムシ タマシキゲンツツク	1000			
トマト	コナガ、アトムシ	1000~ 2000			
トマト	ヨトウムシ	1000			
トマト	ミナミキイロアザミワタ	2000			
トマト	チャノコカクモンハマキ チャノコ ヨモギエダシヤク チーノキイロアザミワタ	1000	200~ 400g	7日	3回

※は病状発生後、その日のうちに使用する。また、農薬の性状により、使用回数や使用時期が異なる場合があります。必ずラベルをよく読んでください。

使用方法をしっかりと見ましょう

生産性の高い農業の確立

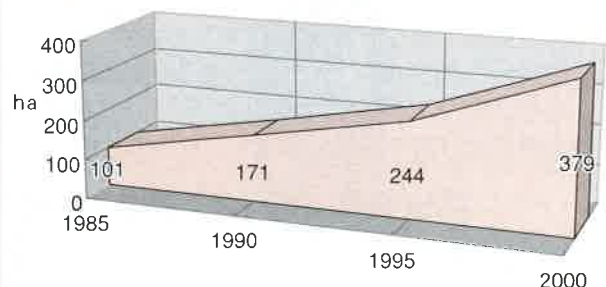
ほ場整備の推進

農業振興地域で営農改善を図るため、ほ場整備を進めています。これまで、約380haのほ場整備を行い、ほ場整備実施計画面積（農業振興地域農用地区域965ha）の約4割を整備してきました。

平成12年度は、安佐北区白木町中井原地区と安佐南区沼田町吉山地区で事業着手し、計画的に整備を進めています。

☎建設部基盤整備課 (☎845-4348)

ほ場整備推進状況



国際農業交流の推進

重慶市農業視察団が来広

広島市と中華人民共和国重慶市は、昭和61年10月の友好都市提携以来、農業分野等で友好交流を進めています。

平成12年12月2日から6日まで、農業視察団が来広し、本センターでの意見交換会をはじめ、市内の野菜農家など熱心に視察しました。今回で、農業視察団の来広は9回目となり、両市の農業交流は長期的な交流へと発展しています。



重慶市農業視察団一行

インド・パキスタン研修生来広

平成12年度「ひろしま国際協力事業」による海外研修生が、環境保全分野における最新技術の習得等のため、8月に来広しました。

インドとパキスタンから来広した研修生2名は、研修の一つとして井原地区農業集落排水処理施設を視察しました。

広島市で習得した新たな技術を、環境保全の視点からのまちづくりや開発事業に活かしていきたいと話していました。



農業集落排水処理施設を視察する海外研修生

市民参加の森林づくり

平成12年度もりメイト育成講座終了

森林ボランティアのリーダーを育成するため、植林・下刈り・間伐・枝打ちなど林業の基本的な技術実習を1年間に4回行いました。

この講座は、平成12年度で5年目を迎え、これまでに、147名が「もりメイト」として巣立ちました。

講座修了生の多くは、森林ボランティアグループ「もりメイト倶楽部Hiroshima」に参画し、里山整備や私有林の間伐ボランティアなどで活躍しています。

平成13年度もこの講座を開催しますので、受講希望の方は、森林整備課へお問い合わせください。



松の植林実習をする「もりメイト」

☎ 森林整備部森林整備課 (☎899-1005)

値し物ご案内

森林公園・昆虫館

「春の女神・ギフチョウ」展

3月1日(木)～6月30日(土)

早春の里山に舞う日本を代表するチョウ、ギフチョウは、「春の女神」の愛称で親しまれています。明治初期に岐阜県で発見されました。幼虫はカンアオイ類の葉を食べ、早春に羽化します。こうした生態を標本や写真で紹介します。

昆虫教室「チョウのはねの観察」

3月11日(日)開催

顕微鏡による観察とはね模様の紙への転写(鱗粉転写)をします。



「春の女神」の愛称で親しまれるギフチョウ

☎ 森林公園 (☎899-8241)